

授業科目(ナンバリング)	精神保健福祉の原理Ⅱ (DB206)			担当教員	齊藤 晋治		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>本科目では、精神保健福祉士の専門性について、ディプロマポリシーにある深い専門的知識を身につけることを念頭に置きつつ下記の学びを深める。</p> <p>① 「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み（理念・視点・関係性）について理解する。</p> <p>② 精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について学ぶ。</p> <p>③ 精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷をふまえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。</p> <p>④ 精神障害者へのかかわりについて、精神医学ソーシャルワーカーが構築してきた固有の価値を学び、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を築く。</p> <p>⑤ 現在の精神保健福祉士の基本的枠組み（理念・視点・関係性）と倫理綱領に基づく職責について理解する。</p> <p>⑥ 精神保健福祉士を規定する法律と倫理綱領を把握し、求められる機能や役割を理解する。</p> <p>⑦ 近年の精神保健福祉の動向を踏まえ、精神保健福祉士の職域と業務特性を理解する。</p>							①②④⑤⑥⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	精神保健福祉士の役割や専門性、倫理綱領について説明できる。 精神保健福祉士の業務について、多職種との違いを指摘できる。 権利擁護の概念とその課題について理解できる。 多職種連携・チームアプローチの意義について理解できる。				小レポート 定期試験 小テスト	10% 45% 5%	
情報収集、分析力	精神保健福祉分野の現状と課題を理解し、問題点を指摘できる。 課題に対して必要な情報を収集し、適切に使用することができる。				定期試験 授業への取組み	10% 10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	グループディスカッションにおいて、課題解決に向けて協働できる。 精神保健福祉分野の課題について、解決に向けた方策を提案できる。				授業への取組み 小テスト	10% 10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>評価は、定期試験 55%、授業への取組み 20%、小テスト 15%、レポート課題 10%の配分で行う。定期試験は、選択形式と記述形式で問う。小テストは、毎回の授業終了時の小テスト（コメントカード）の内容を評価する。授業への取組みについては、授業中に課す課題の提出状況、授業中の受講態度、発言内容等を評価する。なお、小テスト（コメントカード）の内容については翌週の授業にて、授業中の課題については当日の授業内にて適宜フィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>教科書の内容をもとに、精神保健福祉士としての実践力育成のため、毎時間ペアワークやグループワーク、プレゼンテーション、ディスカッションなどを取り入れ、講義内容を踏まえた問題解決型の授業を基本とする。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟「最新・精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉の原理」中央法規出版 2021 参考書：適宜提示する。 指定図書：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟「最新・精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉の原理」中央法規出版 2021</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							

授業で扱う教科書の該当ページについては、事前によく読み、疑問点をまとめた上で授業に臨み、授業で扱った内容について各自で十分に復習しながら、学習の積み残しがないように取り組んでもらいたい。また、日頃から精神保健福祉分野の問題に関心を持ち、関連するボランティア活動等に積極的に参加するなどして、現状についての具体的なイメージをもってもらいたい。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション 精神保健福祉士とは	本講義の進め方や評価方法について確認する。 また精神保健福祉士・精神保健福祉分野について持っているイメージを具体化する。	予習：精神保健福祉士について調べておく。 復習：配布資料を読む
2	<u>精神障害者の生活実態①</u>	精神障害者の社会生活の実際	予習：教科書第4章第3節を読む。 復習：レジュメの整理
3	<u>精神障害者の生活実態②</u>	メンタルヘルスをめぐる新たな課題	予習：教科書第4章第4節を読む。 復習：レジュメの整理
4	<u>「精神保健福祉士」の資格化に至る経緯と精神保健福祉の原理と理念①</u>	精神保健福祉の原理が培われた足跡・過程	予習：教科書第5章第1節を読む。 復習：レジュメの整理
5	<u>「精神保健福祉士」の資格化に至る経緯と精神保健福祉の原理と理念②</u>	精神医学ソーシャルワーカーの意義―「Y問題」から考える	予習：教科書第5章第1節を読む。 復習：レジュメの整理
6	<u>「精神保健福祉士」の資格化に至る経緯と精神保健福祉の原理と理念③</u>	精神保健福祉士の国家資格制度化がもたらしたもの	予習：教科書第5章第1節を読む。 復習：レジュメの整理
7	<u>「精神保健福祉士」の資格化に至る経緯と精神保健福祉の原理と理念④</u>	精神保健福祉士による実践の価値・原理	予習：教科書第5章第2節を読む。 復習：レジュメの整理
8	<u>「精神保健福祉士」の資格化に至る経緯と精神保健福祉の原理と理念⑤</u>	精神保健福祉士による実践の視野や視点	予習：教科書第5章第3節を読む。 復習：レジュメの整理
9	<u>「精神保健福祉士」の資格化に至る経緯と精神保健福祉の原理と理念⑥</u>	援助における関係性	予習：教科書第5章第4節を読む。 復習：レジュメの整理
10	<u>「精神保健福祉士」の機能と役割①</u>	精神保健福祉士法の理解	予習：教科書第6章第1節を読む。 復習：レジュメの整理
11	<u>「精神保健福祉士」の機能と役割②</u>	精神保健福祉士の職業倫理	予習：教科書第6章第2節を読む。 復習：レジュメの整理
12	<u>「精神保健福祉士」の機能と役割③</u>	精神保健福祉士の業務特性と業務指針	予習：教科書第6章第3節を読む。 復習：レジュメの整理
13	<u>「精神保健福祉士」の機能と役割④</u>	精神保健福祉士の職場・職域	予習：教科書第6章第4節を読む。 復習：レジュメの整理
14	<u>「精神保健福祉士」の機能と役割⑤</u>	精神保健福祉士の業務内容とその特性	予習：教科書第6章第5節を読む。 復習：レジュメの整理
15	まとめ	これまでの学習について総括し、定期試験に向けた確認を行う。	予習：これまでの講義資料を読み返しておく。 復習：定期試験に向け、十分に復習を行う。
16	定期試験		